

プレスリリース（2025年10月14日）

オートリブと CATARC が戦略的パートナーシップを締結

自動車安全システムで世界をリードする Autoliv, Inc. (NYSE 略称: ALV、SSE 略称: ALIVsdb) と中国の自動車業界における基準策定を行う研究機関・中国自動車技術研究センター (CATARC) が、中国国内外で自動車の安全基準と技術革新を共同推進する戦略協定を締結しました。

本パートナーシップは、自動車安全分野をリードするオートリブのグローバルリーダーとしての取組みと、国内外で統一されたサービスシステムを確立し中国で生産される全車両の安全基準を確認し、向上させる CATARC の包括的な技術サービス力の連携を図るものです。

協力関係は研究開発にとどまらず、試験、認証、基準整合に及び、中国の自動車メーカーの研究開発とグローバル展開へのテクニカルサポートを行います。

協力関係では、4 つの主要分野に注力します。

- 安全技術の共同研究・・・品質とイノベーションを通じて次世代の安全装置の進歩を図る
- 試験・認証サポート・・・安全性検証プロセスの効率性と信頼性を向上する
- 国外への事業拡大・・・世界クラスの安全性で中国 OEM 企業のグローバル展開をサポートする
- 公益とサステナビリティの取組み・・・共同での提言やイノベーションを通じてより安全なモビリティと持続可能な開発を推進する

「オートリブは 30 年以上にわたり中国で強力なプレゼンスを保持しており、今回のパートナーシップは中国国内外で自動車安全の未来を形づくり、製品の高い品質を担保することに対する我々のコミットメントにおける新たな 1 ページを刻むものです。自動車安全製品は失敗が許されないものであり、欠陥やばらつきが一切ない状態で機能しなければなりません。CATARC とともに、安全基準の次世代を築き道路交通安全を向上することを目指します」と、オートリブ最高技術責任者のファビアン・デュモン氏は述べています。

この協力関係では、CATARC の製品試験・認証、さらに先進的な研究開発における強みが活かされます。また、産学研究的統合強化と、国内外の研究開発リソースの活用を目指します。地理的、産業的、技術的利点を融合し、オートリブと CATARC 共同でイノベーションの推進と自動車安全基準の引き上げを図ります。

本協定は、両組織の長年にわたる良好な協力関係を基盤としており、すべての人々のためにモビリティをより安全にするという共通のビジョンを反映しています。

CATARC は、10 月 15 日から 17 日まで上海で開催される Global NCAP25 世界会議のオフィシャルパートナーです。

以 上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Media: media@autoliv.com,

Gabriella Etemad, Tel +46 70 612 64 24, Emelie Ericson, Tel +46 70 957 81 35

Investors & Analysts: ir@autoliv.com,

Anders Trapp, Tel +46 70 957 81 71, Henrik Kaar, Tel +46 70 957 81 14

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けに、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール（ハンドル）などの安全保護システムを開発、製造および販売しているほか、パイロセーフティ・スイッチといった電氣的安全ソリューションや商用車向け安全ソリューションといったモビリティセーフティ・ソリューションも開発しています。オートリブでは、継続して先進的なソリューションを提供するために、モビリティセーフティの向上にチャレンジし、モビリティに関する基準を再定義しています。

25カ国でビジネスを展開しており、13の研究開発拠点にてイノベーション、研究、開発を推進しています。約65,000人もの従業員は、「Saving More Lives（より多くの命を守る）」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。2024年度の売上高は、104億米ドルです。

CATARCについて

中国自動車技術研究センター（CATARC）は、国務院国有資産監督管理委員会（SASAC）の直接監督下にある中央企業です。1985年に設立されたCATARCは、国内外の自動車産業において広範な影響力を持つ総合技術企業グループです。CATARCは、自動車産業の全バリューチェーンと製品ライフサイクルを網羅する技術サービス能力を構築してきました。その事業領域は、産業サービス、標準策定、政策研究、試験・認証、エンジニアリング技術の研究開発など、幅広い分野に及んでいます。

オートリブ株式会社（オートリブ 日本法人）について

オートリブは1987年に日本でオフィスを立ち上げ、35年以上もの間、主に日本の完成車メーカー向けに自動車を含めたモビリティの安全ソリューション（エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイールなど）の開発、製造、販売を行っています。日本のお客様の営業窓口としてグローバルでも重要な拠点であり、テクニカルセンター、生産工場（筑波事業所・中部事業所・広島事業所）、営業拠点を日本国内に持ち、約2,000人の従業員が働いています。

2024年度の売上高は、1,277億1,900万円です。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www.autoliv.com オートリブグローバルサイト（英語）

www.autoliv.jp オートリブ株式会社（日本）オフィシャルコーポレートサイト（日本語）

www.instagram.com/autolivjapan オートリブ株式会社（日本）公式Instagram（日本語）

セーフハーバー（免責）事項

本文書には、歴史的事実ではなく、1995年の民事証券訴訟改革法にて定義される範囲内で将来の見通しに関する記述とみなされる記述が含まれています。そのような将来の見通しに関する記述には、オートリブまたはそのマネジメントが、将来起こるであろうと考えるまたは予想する活動、事象または展開を示す記述が含まれます。すべての将来の見通しに関する記述は、現時点での我々の期待、さまざまな仮定および第三者から入手したデータに基づいています。我々の期待と仮定は誠実に表現されており、それらには合理的な根拠があると考えています。しかしながら、そうした将来の見通しに関する記述が実現する、または正しいと証明される保証はありません。なぜなら、将来の見通しに関する記述は、本質的に既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因の影響を受けることになり、それらが、そうした将来の見通しに関する記述によって示されるまたは暗示される将来の結果、実績または成果とは実際には大きく異なる将来の結果、実績または成果をもたらす可能性があるからです。数多くのリスク、不確実性およびその他の要因が、将来の見通しに関する記述にて示される結果とは実際には大きく異なる結果をもたらす可能性があります。本書またはその他の文書に含まれる将来の見通しに関する記述について、当社は、1995年の民事証券訴訟改革法に示される、将来の見通しに関する記述に対するセーフハーバー（免責）の保護を主張します。また、当社は、法律にて要求される場合を除き、新しい情報または将来の事象を踏まえて将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負いません。

※本資料は 2025 年 10 月 14 日にオートリブ本社（スウェーデン）で発表されたプレスリリースの日本語版です。英語版は以下のリンクからご確認ください。

<https://www.autoliv.com/sites/autoliv/files/pr/202510132457-1.pdf?ts=1760439622>